

平成27年度事業報告

社会福祉法人
小山市社会福祉協議会

平成27年度 社会福祉法人 小山市社会福祉協議会 事業報告

少子高齢社会の急速な進展、核家族化による家族形態の変容などから、地域の「つながり」は希薄化し社会の姿を大きく変えるとともに、多くの福祉課題を顕在化させております。これらの複雑・多様な福祉課題に的確に対応し、市民誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らしていくためには、公的な福祉サービスと地域住民同士の助け合い・支え合いが一体となって展開されることが必要とされており、公的機関と住民とが協働で推進する「地域福祉」への期待が益々高まっています。

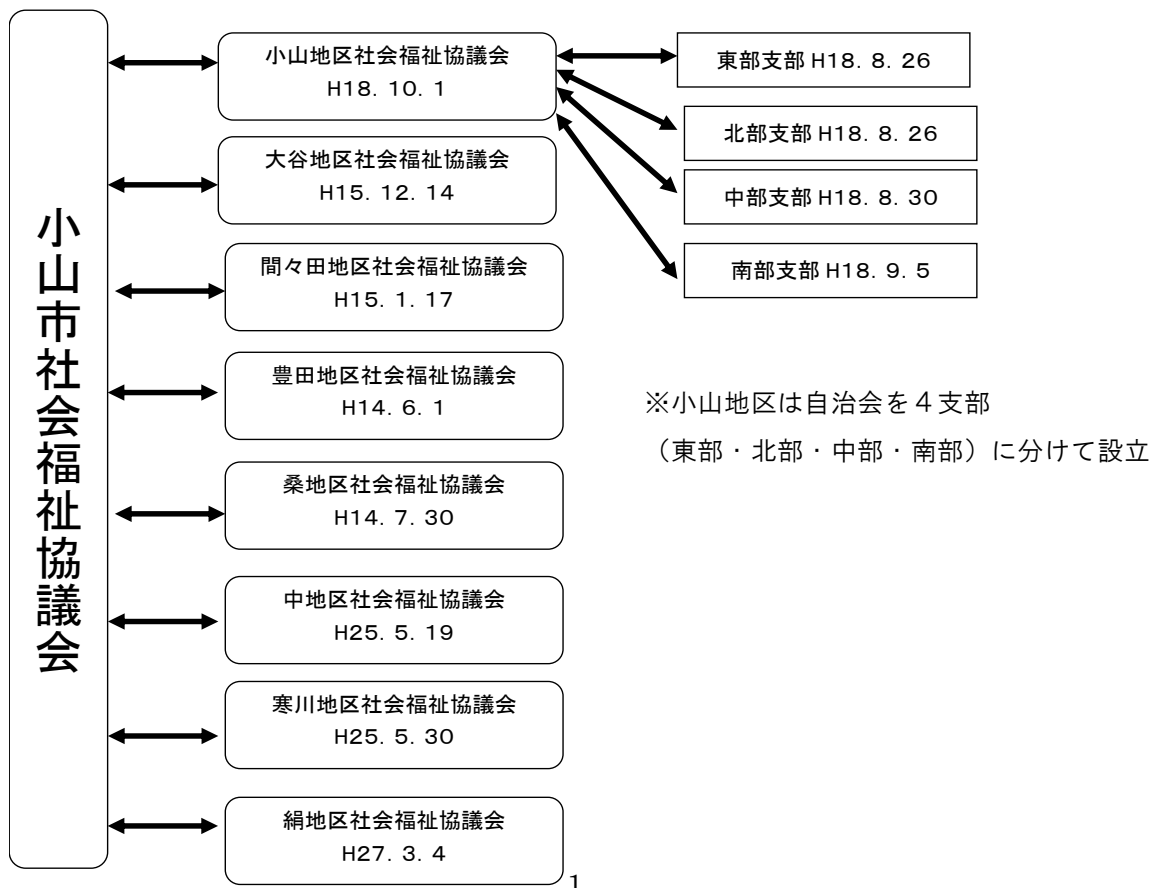
その様な中で、平成27年度は、「第3期 小山市地域福祉活動計画」の策定、基幹型地域包括支援センターの受託、新たなホームページの開設による福祉情報の発信等の新規事業を実施いたしました。また、9月に発災した関東・東北豪雨災害においては、災害ボランティアセンターを開設し、各地から集まった災害ボランティアとともに被災された世帯の復旧支援にあたるなど、市民、関係団体・機関の皆様と連携を図りながら、「一人ひとりの人権と個性を尊重し、ともに支えあい、みんなでつくるわがまち小山」を基本理念に、地域福祉の推進に努めました。

1 とともに支えあうことのできる「地域」と「人」づくり

1. 地域福祉活動の推進

(1) 地区社協活動の推進

①地区社協設置状況



②各地区社協の主な活動報告

ア. 小山地区社協

- ・福祉講演会の開催「成年後見制度について」（2月）
- ・小山地区社協だより（第5号）の発行（3月）
- ・各支部、ボランティア会の活動支援（通年）

ア-北部支部

- ・自治会ボランティア会による見守り活動（通年）
- ・地域ケア会議（11月）
- ・視察研修会（川越市社協）（12月）

ア-東部支部

- ・高齢者と子供のふれあい事業（8月）
- ・視察研修会（草加市社協）（11月）
- ・講演会の開催「認知症の知識と予防」（12月）
- ・一人暮らし高齢者宅（75歳以上）訪問（1月～2月）
- ・地域ケア会議、合同意見交換会（1月）

ア-中部支部

- ・自治会ボランティア会での友愛訪問活動（通年）
- ・小山第一小学校にて小山音頭の指導（5月）

ア-南部支部

- ・一人暮らし・高齢者夫婦世帯（75歳以上）友愛訪問（10月～11月）
- ・地域ケア会議（12月）
- ・視察研修会「さいたま市」（2月）

イ. 大谷地区社協

- ・おおや社協だより「大谷きずな」発行（8月・12月・3月）
- ・地域福祉コーディネーターによる相談窓口の開設
- ・高齢者等の日常生活支援事業（支援回数314件）
- ・寝たきり老人紙おむつ券給付事業（3千円×196人）
- ・大谷手打ちそばの会活動支援（いきふれ2回、自治会1回）
- ・高齢者一人暮らし お昼を一緒に食べる会（9～12月：月1回 1～3月：月2回）
- ・地域美化活動（花の苗配布・児童との共同植えつけ）（7月）
- ・東北津波被害復興買い物支援（11月）
- ・ボランティア研修会・交流会の開催
- ・救急医療安心キットフォロー事業

ウ. 間々田地区社協

- ・視察研修会（富岡市社協）（11月）
- ・地域ボランティア会活動の推進と助成金交付
（友愛訪問、清掃活動、敬老会協力、福祉施設への訪問、子育て支援、研修会等）

エ. 豊田地区社協

- ・豊田地区社協だより「ふくし豊田」の発行（25号）
- ・役員研修会「救急講習会」（7月）
- ・役員研修会「ニュースポーツ実技研修」（8月）
- ・家族ふれあいバスの旅「なかがわ水遊園」（8月）
- ・視察研修会「那須共育園」（10月）
- ・新年家族ふれあい「凧あげ大会」（1月）
- ・各自治会における地域福祉活動（三世代交流事業）

オ. 桑地区社協

- ・「桑地区社協だより」の発行（第7号）
- ・見守り安心サポーター事業
- ・福祉協力員制度の推進（羽川地区）
- ・レクリエーションフェスティバル（6月）、ドッジボール大会（11月）
- ・「楽しい健康づくりの集い」事業（喜沢北部自治会・東出井自治会）
- ・災害時に必要な活動についての協議

カ. 中地区社協

- ・いきふれ「さくら」との交流会（そば振る舞い等）（9月）
- ・昔あそび交流会（1月）
- ・さくらまつり、防犯交通安全推進大会、一斉清掃、公民館まつり等への参加

キ. 寒川地区社協

- ・標語コンクール協力（7月）
- ・寒川ウォーキング、老連輪投げ・ペタンク大会、公民館まつり等への協力

ク. 絹地区社協

- ・絹地区社協だより「きずな」の発行（1号）
- ・絹地区福祉活動計画の策定に向け全体学習会の開催（7月・1月・3月）

（2）広報・啓発活動の充実

①社協だより「ふれあい」の発行

広報委員会を中心に、分かりやすく親しまれる広報誌の作成に力をいれました。

社協だより「ふれあい」を、6月・9月・12月・3月の年4回、全世帯に配布し、（1回 53,500部）本会のPRと活動への参加を呼び掛けました。

②新たなホームページの開設、SNSを活用した情報発信

本会ホームページを一新し、利便性の向上やこまめな情報提供に努めたほか、新たに開設したSNS（Facebook）や市の広報誌、新聞などを利用して啓発活動を進めました。

③第2回小山市社会福祉大会の開催

3月5日(土) 文化センター小ホール 460名参加

表彰式：社会福祉功労者(36名3団体)、どんぐり基金寄付者(2名14団体)、
善意銀寄付者(3団体)、ふくしの標語コンクール入賞者(12名)

講演会：演題 「人にやさしい街づくり・人づくり」 講師 ダニエル・カール 氏

2. ボランティア活動と福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

①ボランティア養成講座の開講

開催月	講座名	回数	協力団体名	人数
4月	手話初級講座	15回	手話サークル 環	12人
〃	手話初級講座	6回	手話サークル すずらん	3人
〃	手話入門講座	23回	手話サークル 光里の環	10人
〃	手話初級講座	12回	手話サークル 彩	7人
〃	点訳入門講座	15回	小山点友会	9人
〃	オカリナ講座	15回	ボランティアサークル オカリナ	13人
合計	6講座	86回	6団体	54人

②市民リフレッシュ講座の開催

・抹茶の頂き方と作法について

2月21日(日) 生涯学習センター和室 14人参加

講師：おやまお助け隊 結城 美鶴 氏、白鷗大学学生

③社協ボランティアセンターの運営

ア. ボランティアの登録状況

・サークル：31団体(1, 548人)

・個人ボランティア(おやまお助け隊)：75人

イ. ボランティアの相談・斡旋状況

・在宅福祉ボランティア等への派遣：5件

・ボランティア活動の相談：4件

・ボランティア要請の相談：19件

④災害ボランティアの養成と災害ボランティアセンターの設置・運営

ア. 災害ボランティア養成講座の開催

7月4日(土) 中央公民館第1研修室 42人参加

講師：にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 氏

イ. 栃木県・小山市総合防災訓練への参加

8月30日(土) 石ノ上河川広場

ボランティア活動拠点運営訓練 43人参加(登録ボランティア団体、自主防災会等)

非常食炊き出し訓練 29人参加(赤十字奉仕団、民生委員児童委員しらかし会)

ウ. 関東・東北豪雨災害における災害ボランティアセンターの設置・運営

設置期間	活動件数	参加ボランティア数
9月11日～11月6日（57日間）	358件	1,216人

(2) 福祉教育の推進

①小学生（親子）サマーボランティアスクールの開講

小学生親子（4年生以上）を対象に、親子のふれあいを大切にしながら福祉を身近に感じ、思いやりの心を育むために、「視覚障がいについて学ぼう」をテーマに盲導犬との歩行訓練や点字の手打ち体験等を実施しました。

7月25日（土） 栃木県立県南体育館 40名参加
協力：東日本盲導犬協会、小山点友会

②中学生・高校生サマーボランティアスクールの開講

中学生（2年生以上）、高校生を対象に、ボランティア活動の基礎的学習の場として、市内14カ所の福祉施設において体験学習を実施し、64人の生徒が参加しました。

開講式 7月23日（木） オリエンテーション、事前学習

体験学習 7月28日（火）～8月7日（金）の期間で2日間

閉講式 8月11日（火） 体験レポートのまとめ、グループ発表

協力施設 サンフラワーデイサービスセンター、富士見荘、穂の香苑、サンフラワー療護園、第2くわの実、小山ひまわり、たんぼぼ園、フロンティア小山、やはた保育所、城東保育所、若木保育所、城北保育所、あけぼの保育所、もみじ保育所

③市内学校への福祉活動補助事業と福祉教育講師派遣

市内の小・中・高校で実施する高齢者や未就学児との交流事業、環境美化活動等の福祉活動について、34校に対し700,000円の補助金を交付しました。

また、総合学習での点字や手話の体験等について、器材の貸し出しや講師派遣による協力を行い、児童・生徒を対象とした福祉教育の推進に努めました。

- ・福祉教育への器材貸出 市内30校
- ・福祉教育への講師派遣 市内18校 延97人

④第2回‘ふくし’の標語コンクールの開催

応募総数：1,078点

小学生の部：347点、中学生の部：705点、一般の部：26点

部門ごとに最優秀作品1点、優秀作品3点を選考し表彰

2 様々な福祉サービスや支援事業の実施

1. 高齢者の福祉の推進

(1) 基幹型／高齢者サポートセンター小山事業

高齢者サポートセンターは、地域の高齢者福祉の中核機関として、小山市より委託され運営する事業所です。平成18年4月に開所し、高齢者が住みなれた地域で、尊厳ある生活を継続することができるよう、要介護状態にならないような予防対策をはじめ、総合相談業務、個々の状態に応じた介護予防プランの作成等の支援を行いました。

また、平成27年度より、小山市から新たに基幹型高齢者サポートセンター業務を受託し、市内全高齢者サポートセンターの統括的な業務を行うほか、地域包括ケアシステム等に関する研修会の開催、総合事業導入に向けての準備等を行いました。

ア. 基幹型高齢者サポートセンター業務

内 容		回 数
全センター、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師・看護師の定例会		各1回／月 全48回
介護予防教室（保健師・看護師）		41回
各センターへの支援・指導・助言など	地域ケア会議	4回
	個別会議	25回
	個別ケース相談	21ケース

イ. 高齢者サポートセンター小山業務

① 総合相談業務取扱状況

区 分	人 数	内 訳
年間相談実人数	584人	来所 91人、訪問 85人、電話408人
年間相談延人数	961人	来所138人、訪問186人、電話637人

② 介護予防支援業務取扱状況

区 分	人 数
介護予防プラン作成実人数	456人
介護予防プラン作成延人数	4,356人

(2) 在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業

小山市からの受託事業として、在宅ねたきり老人などを対象に紙おむつ券の給付を行いました。給付券1枚は1,000円分で、市内18ヶ所の店舗で交換でき、申請月によって、非課税世帯には最大で12枚、課税世帯には最大で5枚の給付券を給付します。

なお、課税世帯への給付は、本会独自に実施しているものです。

- ・ 非課税世帯への給付券給付実績 443人 4,537枚
- ・ 課税世帯への給付券給付実績 705人 3,233枚

(3) 高齢者生きがい講座・サークル事業

小山市からの受託事業として、市内在住の60歳以上の方を対象に、ライフワークとして趣味を楽しむきっかけづくりとして、昭和60年から講座を開講しています。

サークルは、講座修了後も技術の習得や仲間づくりを継続していくことを目的に、希望者が主体的に活動を行っているもので、本会として独自に支援を行いました。

ア. 生きがい講座実施状況 (人)

講座名	受講生	実施日数	延出席者	講座名	受講生	実施日数	延出席者
籐手芸	21	20日	407	ガーデニング	18	11日	162
日光彫	33	19日	548	絵手紙	10	19日	161
太極拳	20	20日	393	アートフラワー	6	20日	83
折り紙	9	12日	61	-	-	-	-
合 計 (7 講座)					117	121日	1,815

イ. サークル実施状況 (人)

講座名	会員	実施日数	延出席者	講座名	会員	実施日数	延出席者
押 花	12	12日	115	日光彫	54	22日	831
レサ`-クラフト	10	22日	176	籐手芸	19	20日	342
花木園芸(花組)	14	19日	212	絵手紙	17	19日	290
花木園芸(みどり会)	27	18日	341	アートフラワー	14	20日	252
合 計 (8 サークル)					167	152日	2,559

(4) ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

市老人クラブ連合会、地域ボランティア会の協力を得て、とかく孤立しがちな75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、社会とのふれあいをもってもらい、地域のあたたかい気持ちを伝えることをねらいとして実施しました。活動内容は、老人クラブ会員等が月2回程度、日用品等を届けながら訪問するものです。

【友愛訪問事業内訳】 (人)

地区名	実施クラブ	対象者	男	女	地区名	実施クラブ	対象者	男	女
小山地区	9ヶ所	86	16	70	豊田地区	1ヶ所	2	-	2
大谷地区	7ヶ所	19	6	13	桑地区	7ヶ所	19	4	15
間々田地区	7ヶ所	36	9	27	絹地区	2ヶ所	3	2	1
生井地区	-ヶ所	-	-	-	小 計	35ヶ所	171	38	133
寒川地区	1ヶ所	5	1	4					
中地区	1ヶ所	1	-	1	地域ボランティア会	4ヶ所	66	11	55
穂積地区	-ヶ所	-	-	-	合 計	39ヶ所	237	49	188

(5) 大切な家族のための「やさしい介護教室」の開催 (於：小山城南市民交流センター)

- 10月13日(火) ムセない食の取り方と口腔ケア 9人参加
- 10月15日(木) オムツのあて方と更衣 11人参加
- 10月19日(月) 安全な移乗介助と環境整備 10人参加

(6) 車イス・車イス移送車の貸し出し

介護保険による車イスのレンタルが利用できない高齢者や、旅行や催しなどの際の短期間の利用希望に応えるため、車イスを無償で貸し出し、在宅での生活を支援しました。

また、身体機能の低下や障がいなどで一般の交通機関が利用できない方に対しては、車イス移送車を貸し出し、社会参加や病院などへの送迎を援助しました。

- ・車イス 利用延人数：163人
- ・車イス移送車 利用延人数：64人、利用延日数：109日

2. 障がい児・者の福祉の推進

(1) 小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」事業

小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」は、昭和43年6月に母子通園ホームとして第一歩を踏み出し、小山市・石橋町・国分寺町・野木町に、平成11年度からは上三川町・南河内町を加え、1市5町の身体障がい児福祉の中核施設として発展してきました。その後、在籍児童数の急増により5町の独立が図られ、現在は小山市を対象地域として、肢体不自由児、知的障がい児、その他障がいを持つ子どもたちや発達に心配のある子どもたちを対象に、療育訓練を行っています。

ア. 小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」通園状況

(地域別・年齢別・障がい別 ※年齢はH27.4.1現在)

(人)

月	前月期首人数	入園	契約人数	開設日数	通園延べ人数	地区別		年齢別		障がい別		退園	来月期首人数
						小山市	野木町	0～3歳未満	3～7歳未満	肢体不自由	知的な遅れ等 広汎性発達障がい		
4	47	7	54	21	195	195	0	4	50	2	52	0	54
5	54	2	56	18	180	180	0	5	51	2	54	1	55
6	55	4	59	22	216	216	0	7	52	2	57	0	59
7	59	8	67	22	244	244	0	10	57	2	65	1	66
8	66	1	67	21	224	224	0	10	57	2	65	0	67
9	67	3	70	19	204	201	3	11	59	2	68	1	69
10	69	1	70	21	257	252	5	12	58	2	68	0	70
11	70	1	71	19	238	235	3	12	59	2	69	0	71
12	71	0	71	19	192	189	3	13	58	2	69	1	70
1	70	2	72	19	222	218	4	13	59	3	68	0	72
2	72	4	76	20	245	242	3	15	61	3	72	1	75
3	75	1	76	22	255	251	4	15	61	4	72	19	57
合計		34	809	243	2,672	2,647	25	127	682	28	779	24	
平均		3	67	20	223	221	2	11	57	2	65	2	

イ. 小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」事業実施状況

月	日	年間行事日程	療育に関する行事日程		
			ST 指導	OT 指導	心理指導
4	6	療育はじめ	10日	17日	
5	15	春の遠足 (とちのきファミリーランド)	8日		14日・20日
	25	運営委員会			
6	19	就学についての講話会	5日	12日	
7	1	プール開き	3日 7日		8日
	6	七夕会			
	29・30	サマ・ボランティアスクール受け入れ			
	31	永久歯対策事業			
8	17～ 31	実習生受入	7日	21日	
9			11日		15日
10	6	就学についての講話会	16日	9日	26日
	30	運動会			
11			6日		13日・21日
12	25	クリスマス会	4日	11日	
		療育納め			
1	4・5	療育はじめ(午前・午後グループ)	8日		20日
2			5日	12日	
3	11	お別れ遠足 (おもちゃ博物館)	4日		16日
	28	お別れ会・療育終了			

*上記のほか月毎に誕生会を開催

*ST 指導とは言語聴覚士による言語指導、OT 指導とは作業療法士による機能指導のこと

(2) 「声の広報」の発行

視覚障がい者を対象に、「広報おやま」「市議会だより」「社協だより」「警察だより」等の身近な情報を、ボランティアグループ「郭公の会」の協力を得てCDにデジタイズ録音し、月1回無料で発行しました。約20人の利用者があり、視覚障がい者の貴重な情報源となっています。

(3) 障がい児・者団体への活動費補助

障がい者団体11団体に対し、その活動を支援することを目的として活動費381,000円の助成を行いました。

3. 児童・ひとり親家庭の福祉の推進

(1) おもちゃ図書館の開設

昭和61年9月、心身障がい児を対象に開設したおもちゃ図書館は、障がい児の相互の交流を図りながら遊びを創造し、子ども達の成長・発達を援助していくことを目的に、ボランティアグループ「ピノキオ」の協力を得て運営を行ってまいりました。

現在は、広く一般のお子さんを対象に開館し、学生ボランティアの参加も得ながら、沢山の親子がおもちゃを通して交流を図れる場となっています。

- ・開設場所　こども発達支援センター「たんぼぼ園」（市保健福祉センター内）
- ・開設日　毎月第1土曜日　午前10時～午後3時
- ・利用者数　延1,098人
- ・協力ボランティア数　延102人

(2) 認可外保育施設への助成事業

歳末の時期、児童への楽しい催しの際の助成として、認可外保育施設（児童135人）に775,000円の補助金の交付を行いました。

(3) ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭の親子にふれあいと交流の場を提供することを目的として、母子寡婦福祉会連合会の協力を得て、交流事業を実施しました。

ア. 親子ふれあいケーキづくり

12月23日(祝) 保健福祉センター調理室　12家族28名参加
クリスマスケーキとカレーづくり

イ. 親子ふれあいバスツアー

1月6日(水) アクアワールド大洗・那珂湊　7家族15名参加

4. 介護保険等事業の充実

(1) ホームヘルプサービス事業

平成7年7月に、小山市からの受託事業としてホームヘルプサービス事業の一部を実施し、平成11年4月からは、小山市よりホームヘルパーの移管を受けて、介護保険と介護予防サービスの利用者、自立支援サービスの利用者に対して、食事や身の回りの世話、相談、助言などの各種サービスを提供しました。

ア. ホームヘルパー活動状況（対象世帯別サービス提供者数） (人)

対象世帯	人数	備考
介護保険と介護予防利用者	63	介護 22、介護予防 41
自立支援利用者	22	身体:14、知的:6、児童:1、精神:1
介護保険非該当者	16	
同行援護利用者	3	
合計	104	

イ. ホームヘルパー活動状況（常勤・登録別サービス提供時間数） (人)

	人数	訪問日数	訪問回数	訪問時間
常勤ヘルパー	4人	1,203日	3,654回	3,401時間05分
登録ヘルパー	19人	4,045日	11,565回	10,571時間50分
計	23人	5,248日	15,219回	13,972時間55分

(2) 在宅介護支援センター「おやま社協」事業

平成11年4月15日に開所し、平成12年度からは介護保険制度の導入に対応しながら、介護や保健福祉サービスなど各種相談に応じています。

平成18年4月に介護保険法が改正されてからは、「高齢者サポートセンター」に繋ぐ地域に密着した相談窓口として、関係機関との連絡調整に努めながら、相談援助業務、介護サービス計画（ケアプラン）や介護予防プランの作成を行いました。

ア. 在宅介護支援センター相談取扱状況

区分	人数	内訳件数	
年間相談実人数	6人	来所 2人	電話 4人
年間相談延人数	142人	来所 58人	電話 84人

イ. 介護サービス計画及び介護予防プラン作成人数

介護サービス計画	人数	介護予防プラン	人数
介護サービス計画作成実人数	36人	介護予防プラン作成実人数	10人
介護サービス計画作成延人数	814人	介護予防プラン作成延人数	64人

3 安心かつ健全な生活環境づくり

(1) 権利擁護事業の推進

① 日常生活自立支援事業（あすてらす おやま）

平成11年10月より、県社会福祉協議会からの受託事業として「あすてらす おやま」を開設しています。認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力に不安のある方が自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類の預かりサービス等の相談・支援を行いました。

管轄地域は、小山市、野木町の1市1町となっています。

【日常生活自立支援事業相談取扱状況】

件数・人数		内 訳 ・ 説 明			
相談件数	2,197 件	一般相談（あすてらす おやまの職員が対応）			
年度末利用者数	129 人	契約件数	23 件	解約件数	24 件
支援件数	2,547 件	訪問調査	637 件	生活支援	1,910 件

② 成年後見制度利用支援事業

小山市からの受託事業として、成年後見制度に関する相談を受付け、適切な機関へのつながりも含め必要な支援を行うとともに、市長申立や費用助成等の業務を実施し、必要な方が誰でも適切に制度を利用することができるよう、必要な支援を行いました。

【成年後見制度等に関する相談取扱状況】

相談者数	相談件数 (内訪問件数)	市長申立 件数	費用助成 件数	親族意向 確認件数	親族申立 支援件数
39人	67件 (39件)	-	-	3件	4件

③ 市民後見推進事業

小山市からの受託事業として、今後不足が見込まれる専門職後見人に代わり、市民を後見人として育成し活動できる体制を整備するため、成年後見制度の普及・啓発を中心に事業を実施しました。

ア. 「思いつむぎノート」の普及・啓発

・配布部数 2,450冊

イ. 成年後見制度の普及・啓発

・成年後見制度普及講座の開催

2月29日(月) 小山城南市民交流センター 参加者：100名

講師：一般社団法人 社会福祉士事務所にじみる 理事 高田 美保 氏

・出前講座の実施

開催回数：12回 受講者：291人

(2) 相談業務の充実

① 総合相談事業の実施

来庁・電話による市民からの相談を随時受け付け、適切な機関につなげるとともに、可能な支援を行いながら、要援護者の抱える課題を軽減できるよう支援を行いました。

・来庁・電話による相談（支援）者数 185人 延203回

② 心配ごと相談事業の推進

小山市からの受託事業として、社会生活の中で生ずる諸問題について、相談員が市民からの相談に応じ問題解決の手助けを行っています。民生委員児童委員10人、学識経験者2人が常任相談員となり、毎週火曜日、神鳥谷庁舎において、来庁・電話による相談に応じ、毎月第2・第4火曜日は、栃木県弁護士会からの派遣弁護士による法律相談も実施しています。

なお、間々田出張所と桑出張所において、それぞれ隔月で出張相談も開設しました。

【心配ごと相談開設・実施状況】

区 分	日数・人数	内訳・説明
開設日数	59日	相談員延出席人数：144人
相談者数	135人	来庁者：125人 電話相談：10件

【心配ごと相談取扱内容別件数】

(件)

No.	相 談 種 別	取扱 件数	開設以来 の取扱数	No.	相 談 種 別	取扱 件数	開設以来 の取扱数
1	生 計 問 題	18	490	11	人権・法律問題	5	1,026
2	年 金 問 題	1	28	12	財 産 問 題	22	2,299
3	職業・生業問題	7	211	13	事 故 問 題	4	225
4	住 宅 問 題	8	1,046	14	母子健康・ 児童福祉	1	116
5	家 族 問 題	22	1,472	15	教育・青少年	1	94
6	結 婚 問 題	1	131	16	心身障がい児 (者)福祉	0	34
7	離 婚 問 題	19	1,668	17	母子・父子福祉	0	44
8	健康・保健・ 衛生問題	0	86	18	老 人 福 祉	2	150
9	医 療 問 題	4	267	19	苦 情	6	484
10	精 神 問 題	0	12	20	そ の 他	14	1,102
相 談 件 数 合 計						135	10,985

(3)災害救護や緊急を要する世帯への支援の充実

① 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、身体障がい者世帯、失業等により生活が困難な世帯を対象に、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長を図ることを目的に、県社協が実施主体となり実施する貸付事業です。市社協は貸付、償還指導、予備審査など直接的な事務を担当しています。

【生活福祉資金取扱状況】

貸付資金種別	貸付件数	貸付金額(円)	貸付総件数
総合支援資金	-	-	51
福祉・教育・小口資金	3	3,775,000	122
生活復興支援資金	-	-	1
離職者支援資金	-	-	4
臨時特例つなぎ資金	-	-	3
合計	3	3,775,000	181

② 緊急生活一時資金貸付事業

他から借り受けることが困難な低所得世帯に対し、経済的自立を支援し生活意欲の助長を図ることを目的に、生活のつなぎとして資金を貸付しました。

【緊急生活一時資金月別貸付・償還状況】（償還額は平成27年度以前ものを含む）

月	貸付件数(件)	貸付金額(円)	償還件数(件)	償還金額(円)
4月	2	20,000	10	88,000
5月	11	130,000	6	40,000
6月	7	70,000	12	115,000
7月	5	60,000	6	57,000
8月	5	50,000	7	57,500
9月	5	45,000	7	75,500
10月	3	30,000	6	40,500
11月	4	33,000	2	22,500
12月	1	10,000	11	111,000
1月	5	55,000	2	12,000
2月	2	20,000	6	45,000
3月	7	67,000	6	55,000
合計	57	590,000	81	719,000

③ 緊急食料等支援事業

NPO法人 フードバンクとちぎ、善意銀行事業と連携し、生活が困窮し食料等の確保に逼迫している世帯に対し食料を現物で支給することで、低所得世帯等の生活の安全を守る一助としました。

- ・食料等支援件数 70世帯 延95回

④ どんぐり基金を活用した子どもの貧困対策事業

平成26年11月より、市民からの善意の寄付金である「どんぐり基金」を活用し、止むを得ない事情により生計を維持できなくなってしまった世帯、緊急一時的に生計維持が困難となってしまった世帯に対し、緊急の給付金（限度額2万円）や食料等を購入するための助成金（限度額5千円）を支給し、児童とその家庭の安全で安心な生活の確保に努めました。

- ・緊急給付金支給事業 13世帯へ260,000円を支給
- ・緊急食料等支援事業 14世帯へ70,000円を支給

⑤ 歳末見舞金支給事業

共同募金配分事業として、生活保護を受けていない低所得世帯、ひとり親家庭、高齢者世帯、身体障がい者世帯、準要保護世帯等の要支援世帯に対して、明るいお正月を迎える一助として見舞金を支給しました。

- ・対象：728世帯（1,889人） 支給総額：8,441,000円

⑥ 災害見舞金の支給

災害救助法の適用にならない小災害の罹災者5世帯に対して、100,000円を見舞金として贈りました。

⑦ 低所得世帯入学児童への援助

共同募金の配分事業として、小学校に入学する生活保護世帯の児童4名に対し、ランドセルを送り就学を支援しました。

⑧ 善意銀行の運営

不要になった物や活動の収益で購入した物など、市民、団体、企業からの善意の寄付を、必要とする施設や個人に払い出し、助けあいの活動を行いました。

【物品預託払出】（21ページ参照） （件）

預 託		払 出（延）	
個 人	17	個 人	5
団 体	6	団 体	27
計	23	合 計	32

4 社協の「見える化」と財源づくり

(1) 会員の拡充

市民総参加による地域福祉活動を推進する体制づくりとして、引き続き会員拡充に努め、自治会連合会、民生委員児童委員協議会などの協力と多くの市民の理解により、次のとおり会員の加入を得ました。

◎会員加入の状況

会 員 数				会費納付額	全戸数に対する加入率
普通会員	特別会員	法人会員	計		
30,543 人	2,339 人	251 人	33,133 人	12,824,400 円	66.9%

◎地区別内訳

区分	普通会員		特別会員		法人会員		その他 (円)	金額(円)
	人数(人)	口数(口)	人数(人)	口数(口)	人数(人)	口数(口)		
地区								
小山	10,054	10,060	542	552	79	79	1,200	3,966,200
大谷	6,406	6,413	352	354	20	20	300	2,378,200
間々田	4,631	4,631	311	314	36	38	100	1,943,400
生井	409	409	93	93	9	10	200	235,900
寒川	390	390	79	79	4	4		221,000
豊田	1,333	1,333	207	207	5	5		621,900
中	627	627	64	64	3	3		272,100
穂積	359	359	127	127	4	4	100	239,800
桑	4,733	4,733	295	311	22	22	700	1,841,600
絹	1,108	1,108	152	152	1	1		489,400
社協扱	493	493	117	117	67	70		614,900
合計	30,543	30,556	2,339	2,370	251	257	2,600	12,824,400

※社協扱には、市職員分を含む。

(2)小山市地域福祉振興基金（どんぐり基金）の造成

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、昭和56年3月に設置された本基金は、市民、自治会をはじめ、福祉基金協力会等の協力を得て造成運動を実施し、平成元年に1億円、平成4年に2億円を達成しました。これを期に自治会への戸別募金を終了し、現在では、団体や個人、募金箱の設置等による善意の寄付を受入れ、運用利息をボランティア団体への活動補助金や在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業のほか、平成26年11月からは、子どもの貧困対策事業に活用しています。

【どんぐり基金積立状況】

(円)

基金繰越金	平成27年度寄付金	合計(累計)
412,173,946	2,973,290	415,147,236
基金明細	どんぐり基金繰出金累計額	37,138,466
	基金積立額	378,008,770

(3)共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の実施

毎年10月1日～12月31日の期間、全国一斉に募金活動が展開され、小山市においても、戸別・職域・法人・街頭募金など様々な方法によりご協力をお願いしました。

平成27年度からは、「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を「共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）」として統合し、10月1日より一括で募集しました。

集められた寄付金は、栃木県共同募金会により県内の民間社会福祉施設・団体などへ配分されるほか、本会を通じて地域の福祉活動に還元しています。

①募金募集実績

(円)

募集目標額	募集実績額
25,308,000	24,755,882

③ 金配分実績（平成26年度募金分）

(円)

対象別	配分額	内容	
A 県共同募金会配分	8,832,000	県内各種福祉施設・団体配分	
B	高齢者事業	3,033,436	紙おむつ券配布、友愛訪問事業等
	障がい児・者事業	381,000	団体への活動費補助等
	児童・青少年事業	1,234,051	児童遊び場、認可外保育施設助成等
	住民全般事業	11,502,767	福祉教育、ボランティア活動支援、社会福祉大会、歳末見舞金配布等
合計	24,983,254		

(4)日本赤十字社事業の推進

日赤栃木県支部小山市地区として、社資募集、各団体・機関が実施する血液事業や青少年赤十字事業、健康生活支援講習等の事業に活動費を交付しました。

【社資募集実績】

(円)

目標額	実績額
17,977,000	15,415,043

5 責任ある法人運営

(1) 理事会・評議員会・各委員会の運営

① 理事会

開催日	議 題
5月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員委嘱について同意を求めることについて ・ 第三者委員の選任について ・ 委員会委員の指名について ・ 平成26年度小山市社協事業報告について ・ 平成26年度小山市社協一般会計資金収支決算について ・ 平成27年度小山市社協一般会計資金収支補正予算(案)について
3月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員委嘱について同意を求めることについて ・ 小山市社協定款の一部改正について ・ 小山市社協放課後等デイサービス事業運営規程の創設について ・ 小山市社協個人情報保護規程の創設について ・ 小山市社協特定個人情報取扱規程の創設について ・ 第3期小山市地域福祉活動計画(案)について ・ 平成28年度小山市社協事業計画(案)について ・ 平成28年度小山市社協一般会計資金収支予算(案)について

② 評議員会

開催日	議 題
5月29日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事及び監事の選任について ・ 第三者委員の選任について ・ 委員会委員の指名について ・ 平成26年度小山市社協事業報告について ・ 平成26年度小山市社協一般会計資金収支決算について ・ 平成27年度小山市社協一般会計資金収支補正予算(案)について
3月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事及び監事の選任について ・ 小山市社協定款の一部改正について ・ 小山市社協放課後等デイサービス事業運営規程の創設について ・ 小山市社協個人情報保護規程の創設について ・ 小山市社協特定個人情報取扱規程の創設について ・ 第3期小山市地域福祉活動計画(案)について ・ 平成28年度小山市社協事業計画(案)について ・ 平成28年度小山市社協一般会計資金収支予算(案)について

③ 総務委員会・事業委員会

開催日	議 題
5月12日(火)	・ 平成27年第2回理事会・評議員会上程議案について
2月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度小山市社協表彰者・感謝状贈呈者について ・ 平成28年第1回理事会・評議員会上程議案について

④福祉委員会

開催日	議 題
1月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付事業について ・緊急生活一時資金貸付事業の貸付・償還状況及び欠損処分について ・緊急食料等支援事業について ・どんぐり基金を活用したこどもの貧困対策事業について ・‘ふくし’の標語コンクール優秀作品の選出について

⑤広報委員会

開催日	議 題
5月7日(水)	・社協だより ふれあい（6月1日号）の掲載記事について
8月5日(水)	・社協だより ふれあい（9月1日号）の掲載記事について
11月4日(水)	・社協だより ふれあい（12月1日号）の掲載記事について
1月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だより ふれあい（3月1日号）の掲載記事について ・平成28年度の発行予定及び契約業者について

(2) 発展・強化プラン推進委員会の設置・運営

日 付	協 議 事 項
7月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期地域福祉活動計画の策定について ・第1期小山市社協発展・強化プランの進行管理について
1月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3期地域福祉活動計画（素案）について ・平成28年度の事務局体制について

(3) 第3期小山市地域福祉活動計画の策定

名 称	日 付
住民懇談会	<p>小山市と合同で4月～5月にかけて市内12地区で実施</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小山市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定について 2. アンケート調査結果の概要について 3. 地域福祉の推進に向けて（ワークショップ・意見交換） <p>白鷗大学教育学部教授 川瀬 善美 氏</p>
策定作業委員会	<p>第3期小山市地域福祉活動計画（素案）を作成し、発展・強化プラン推進委員会に報告するため、8月10日(月)、9月2日(水)、10月16日(金)、11月6日(金)、11月30日(月)、12月16日(水)の全6回開催した。</p>

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細 (敬称略)

寄 付 内 容			払 出 先
寄 付 者	物 品 名	数 量	
匿 名	紙おむつ	多数	老人福祉施設
匿 名	タオル	50本	老人保健施設
栃木県退職公務員連盟小山支部	タオル	300本	老人福祉施設
中 田 和 子	タオル バスタオル 紙おむつ	140本 7枚 1袋	老人福祉施設
匿 名	中古点字機番	一式	社協用 (手話講座に使用)
五家英子チャリティショー実行委員会	車椅子	1台	社協用 NO.218
茂 呂 憲 一	紙おむつ パジャマ 肌着	多数	老人保健施設
匿 名	紙おむつ多数	3袋	老人保健施設
名 湊 和 市	タオル・下着	多数	老人保健施設
高 瀬 正 代	サンタクロス衣装	一式	たんぼぼ園にて使用
ボランティア団体ふれんど	車椅子	1台	社協用 NO.219
匿 名	中古電動ベッド	1台	一般市民
小 山 北 桜 高 校	タオル	多数	災害用として使用
片 野 頼 昌	折りたたみ式 電動ベッド	1台	一般市民
覚 本 幸 子	玄米	2袋	生活困窮者
「小さな親切」運動小山地区支部	車椅子	1台	社協貸出用 NO.220
五家英子とみんなで楽しく踊ろう会小山支部	車椅子	1台	社協貸出用 NO.221
澤 留 滋	紙おむつ	11袋	老人保健施設
高 橋 一 郎	折り紙	多数	たんぼぼ園にて使用
町 田 清 子	ハーフケット クリアホルダー	7枚 100枚	たんぼぼ園にて使用
後 藤 弓 子	タオル	84本	老人保健施設
大 柳 こ ず 恵	中古車椅子	1台	社協用 (介護研修用として)
匿 名	玄米30kg	1袋	生活困窮者用